

●自然体験⑬

スノーシュー（かんじき）ハイキング



概要

スノーシューをはいて、雪に覆われた森や野原を歩き、木々の冬芽、動物の足跡、鳥の姿や鳴き声など、多くの命を身近で感じることができます

人数

・何名でも

対象

・未就学児～

実施期間

・1月～3月

（積雪がある期間）



活動場所・所要時間

・滝野の森エリア 1～2時間

・展望台エリア 2～4時間

※所要時間は概算です。団体の人数、参加者の年齢や体力、計画の内容によって異なる
また、上記の所要時間には、準備や片づけ等を含む

指導のねらい

・ハイキング中に自然を活用したプログラムを実施することで、自然をよく知り、自己の考えを深めたり、思考を広げることができる

活動のながれおよび留意点

【事前学習】

- ①どのような活動にしたいか「目的」を共有する
- ②グループ編成を決める
※引率体制も事前に考えておく
- ③使用する用具の確認をする

【当日】

- ①服装、持ち物の確認や健康チェックを行う
- ②事務室で無線機を借りる
- ③物品の貸出（山の家職員立ち合い）
- ④スノーシューの実施（※詳細は別紙参照）
集合→スノーシュー・かんじきの受取（乾燥室）→
屋外ステージ・くわの実広場・入り口前広場などへ
移動→出発→ゴール
- ⑤物品の返却（山の家職員立ち合い）
※物品の紛失を防ぐため、午後4時までに必ず返却をする

準備物品

【山の家で貸出可能なもの】

- ・スノーシュー

【団体で準備するもの】

- ・防水、防風性の強いウェア（重ね着をして、暑い場合は脱げるようにする）、帽子、耳当て、スパッツ、手袋、汗拭きタオル、換えの手袋

備考

スノーシュー（道具の準備・片付け）

1. 道具の準備

始めに乾燥室に行きます。乾燥室の奥にあるスノーシューを持ってスタート場所へ移動します。歩くスキーの貸出しと重ならなければ(在庫があれば)、ストックの貸出しも可能です。その場合は、必ず山の家職員にご相談ください。



2. スノーシューの装着

①スノーシューの左右を確認



②バンド（前・後）を緩め、つま先を入れる



③バンドの両端を引いて締める



④後ろの締め具を引いて、かかとを固定する



※余ったバンドは両端の金具で止めたり結んだりして歩行の邪魔にならないようにしてください。

※スノーシュー（かんじき）の装着は雪上で行います。靴の裏や締め具の雪を落としてから装着してください。

3. 道具の片付け

① ハイキング終了地点でスノーシュー（かんじき）をはずし、付いている雪をきれいに取り除きます。

② 乾燥室へ行き、スノーシューを元の場所に戻します。

※破損や不具合があった場合には、速やかに山の家職員にお伝えください。